

高岡テクノドームの機能の拡充等の方向性 (案)

令和 2 年 6 月 5 日

高岡テクノドームの機能の拡充等に関する検討会

目 次

1	はじめに	1
2	機能の拡充等の方向性（概要）について	2
3	高岡テクノドームの機能の拡充等の検討の背景・必要性	3
	（1）高岡テクノドームの概要	3
	（2）高岡テクノドームの利用状況	4
	（3）高岡テクノドームの周辺地域の環境変化	6
	（4）新たなニーズ等への対応	7
4	機能の拡充等の方向性	8
	（1）展示に係る施設・機能の充実	8
	（2）集客・交流に係る施設・機能の充実	13
	（3）その他	15
5	整備イメージ	17
6	整備スケジュール等	18
7	付属資料	19
	（1）検討会設置要綱	19
	（2）検討会委員名簿	20
	（3）検討会の開催状況	21

1 はじめに

高岡テクノドームは、県、高岡市、地元経済界が中心となり平成3年に設置されて以来、展示会等の開催や研究開発型企業の育成による産業の創出を通じて、県西部地域をはじめとする県内経済の活性化に大きく寄与してきた。

これまでも、新たなコンベンションや展示会などのニーズに対応するため、音響・映像設備の充実などを図ってきたが、近年では、5Gの設備や大規模会議に対応できる客席の整備など、新たな機能を求める声も上がっている。

また、高岡テクノドーム周辺は、北陸新幹線の新高岡駅に近接していることに加えて、近年、道路網整備による県内外からのアクセス向上、隣接する大型ショッピングセンターの増床など、立地環境の魅力が向上しており、さらに、2022年度（令和4年度）末に予定される北陸新幹線の敦賀延伸による交流人口の増加が期待されている。

こうしたことから、高岡テクノドームが、多様なニーズに対応し、県民や企業にこれまで以上に親しまれ、県西部地域をはじめとする県内経済の活性化に資する拠点施設となるよう、その展示・交流機能の拡充の方向性について検討を行うため、本検討会を設置し、その方向性についてとりまとめたものである。



2 機能の拡充等の方向性（概要）について

本検討会では、機能の拡充等の方向性として、「展示に係る施設・機能の充実」、「集客・交流に係る施設・機能の充実」について、委員から様々な意見が出された。

県民に親しまれ、県西部地域をはじめとする県内経済の活性化に資する拠点となるよう、高岡テクノドームの機能拡充等を進めるにあたり、本検討会が示す方向性は次のとおりである。

(1) 展示に係る施設・機能の充実

- ・展示場（別館）を**現駐車場北側に設置**
- ・展示場（別館）は、**1,000席程度の多機能型**として整備

(2) 集客・交流に係る施設・機能の充実

- ・展示場（別館）に**ものづくり産業の発信・体験施設を併設**

(3) その他

- ・地場産工芸品等を別館の建具等に可能な限り活用
- ・現施設の**機能強化も検討**
- ・2022(R4)年度末に予定される北陸新幹線**敦賀開業に向けて整備**

今後は、この方向性のほか、関係者の意見等も踏まえ、費用対効果や整備コスト等も十分考慮しながら、北陸新幹線の敦賀開業効果を最大限に引き出し、波及させていくため、丁寧かつスピード感を持って整備に向けた検討を進める必要がある。

3 高岡テクノドームの機能の拡充等の検討の背景・必要性

(1) 高岡テクノドームの概要

高岡テクノドームは、県、高岡市、地元経済界が中心となり、平成3(1991)年に設置されて以来、展示会等の開催や研究開発型企業の育成による産業の創出などを通じて、県西部地域をはじめとする県内経済の活性化に寄与している。

<施設概要>

①設置経緯

S60 地元経済界の要望により、展示施設計画が高岡市(1985)総合計画に盛り込まれる。

S62 県が「とやま産業活性化基盤整備構想」を策定し、(1987)産業創造センターの建設計画を発表

高岡市が県に「文化・産業デザインや大規模な展示を併せ持つ産業基盤施設」の高岡市への設置を要望

②竣工 H3(1991)年2月

③建設費 約32億円

④運営 一般財団法人富山県産業創造センター

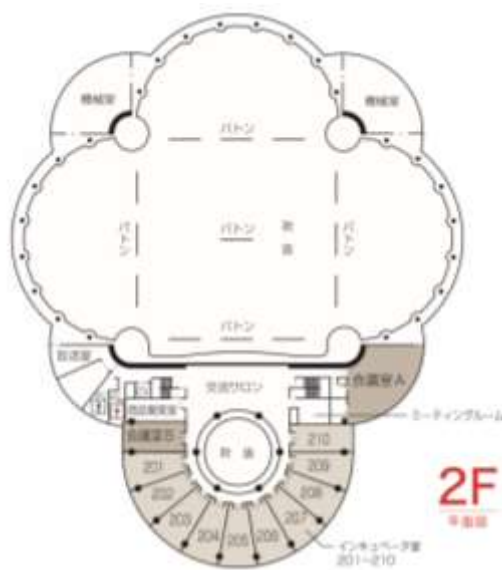
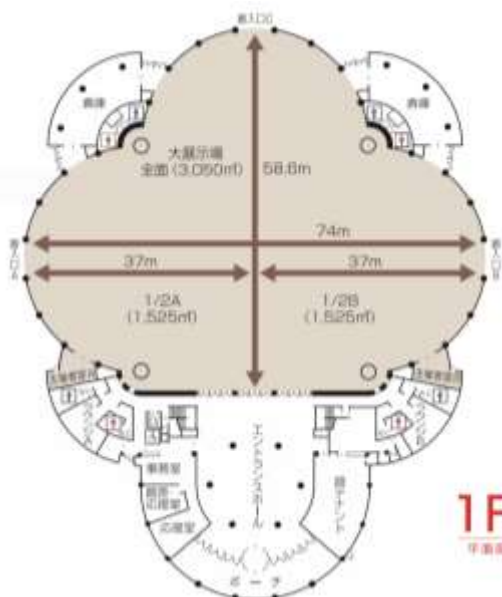
⑤施設内容

敷地面積 38,400㎡ 建物延床面積7,080㎡

- ・大展示場 3,050㎡
- ・屋外展示場 1,000㎡ (駐車場としても使用)
- ・インキュベータ室10室(約50㎡)
- ・会議室2室(144㎡、52㎡)、主催者室2室
- ・その他(応接室、交流サロン、自動販売機コーナー等)
- ・駐車場 1,000台(屋外展示場と重複あり)

⑥経営状況(H30決算・事業活動収支)

収入 107.0百万円 - 支出 89.2百万円 = 17.8百万円



3 高岡テクノドームの機能の拡充等の検討の背景・必要性

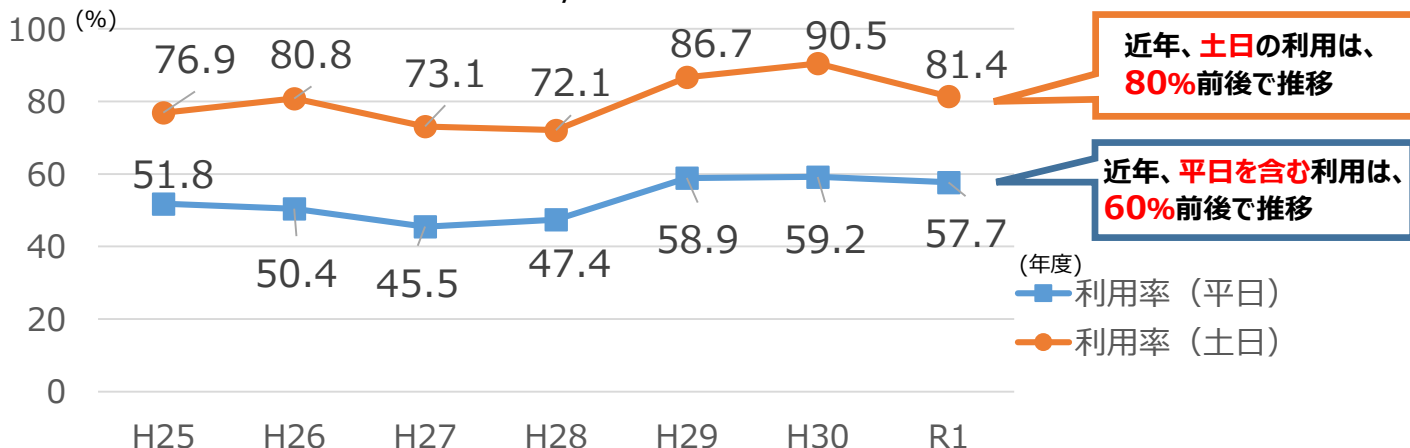
(2) 高岡テクノドームの利用状況

大展示場の利用状況は、近年、平日を含む利用率は60%前後、土日の利用率は80%前後で推移しており、概ね順調な施設利用がなされている。

催事種類別の利用については、住宅設備、家具・電化製品、自動車関係の催事が多い。

最近の3か年で見ると、毎年、同時期の土日に開催されている催事が約半数を占めている。こうした定期的な利用は、安定的な施設利用につながっている一方で、土日の催事が固定的になっている面が見られ、新規イベントが入りにくい状況とも言えると考えられる。

① 大展示場の利用率（利用日数/開館日数）の推移



② 大展示場利用の催事種類別件数の推移

(件)

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
総合（フェスティバル等）	1	2	3	3	1	2	1
会議・集会・試験等	13	11	14	6	10	9	9
建設・住宅設備機器	7	9	8	11	9	9	8
家具・建具・電化製品・インテリア	11	9	6	7	10	11	11
各種産業機械・技術（農業機械含む）	3	3	2	4	4	2	3
自動車	7	7	6	8	13	11	11
趣味・娯楽・文化・スポーツ	2	3	3	2	2	2	2
食品・農産物	2	2	8	9	8	5	3
骨董・美術品・呉服・宝飾	8	6	5	4	6	8	6
その他	1	1	-	-	-	-	-
計	55	53	55	54	63	59	54

新型コロナウイルス感染症の影響による減（6件）

3 高岡テクノドームの機能の拡充等の検討の背景・必要性

③大展示場の利用例 (令和元年度 54件)

は当年度新規催事

月	利用内容	月	利用内容	月	利用内容	
4	家具展示即売会	8	鉄道模型展示	11	家具・骨董展示即売会	
	住宅設備機器、産業機器等展示会		お盆用花卉即売会		呉服展示即売会	
	産業機器展示会		家具展示即売会		就職説明会 (一般者向け)	
	ライオンズクラブ年次大会		就職説明会		農産物展示即売会 (たかおか食彩フェア)	
	中古車展示即売会		米寿のつどい		家電製品展示会	
5	家具・骨董展示即売会	9	中古車展示即売会	12	家具展示即売会	
	呉服展示即売会		家具展示即売会		就職説明会 (シニア向け)	
	住宅・住宅設備機器展示会		中古車展示即売会		雑貨展示即売会	
6	家電製品展示会		就職説明会 (障害者向け)		1	中古車展示即売会
	農機具展示会		eスポーツ対戦会・体験会、5G技術体験会			住宅・住宅設備機器展示会
	家電製品展示会	興行 (プロレス)	中古車展示即売会			
	外食産業商品展示販売・商談会	ペット展示即売会	2	新車中古車展示販売		
家具展示即売会	屋外・溶接講習会・展示会	中古車展示即売会				
7	仏具展示販売	10		骨董品展示即売会	住宅・住宅設備機器展示会	
	新車中古車展示販売		建設機械展示会	家具展示即売会		
	家具展示即売会		ガス機器等展示会	住宅・住宅設備機器展示会		
	住宅・住宅設備機器展示会		家電製品展示会	3	中古車展示即売会	
	中古車展示即売会					
	就職説明会					



④例年同時期に開催されている土日イベント例

- | | |
|---------------|----------------|
| 4月：住宅設備、自動車 | 10月：住宅設備、家電 |
| 5月：骨董、呉服、住宅設備 | 11月：家電、農産物 |
| 6月：家電、農業機械 | 12月：家具、雑貨 |
| 7月：仏具、家具 | 1月：自動車 |
| 8月：家具、花卉 | 2月：自動車、住宅設備、家具 |
| 9月：家具、自動車 | 3月：自動車、住宅設備 |

※ 3か年(H29～R1) 同時期開催の催事を記載

・定期的な利用は、催事の安定確保に寄与
 ・一方で、土日の催事が固定的になっている面が見られ、新規イベントが入りにくい状況

(参考) 入館者数の推移

H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
291,217	320,416	277,810	279,837	300,523	307,621	251,145

(人)

3 高岡テクノドームの機能の拡充等の検討の背景・必要性

(3) 高岡テクノドーム周辺地域の環境の変化

高岡テクノドーム周辺は、新高岡駅に近接していることに加えて、高岡環状線の暫定2車線高架化などの道路網の整備によるアクセス向上や隣接の大型ショッピングセンターの増床など、周辺の立地環境の魅力が増しており、ファミリー向けや、県外からの誘客に繋がるようなイベント等のニーズが増大することも見込まれる。

これに加え、北陸新幹線の敦賀開業による交流人口の増加も期待されるなど、このエリアが、県西部地域の活性化に資する拠点として、大きな可能性があると考えられる。



3 高岡テクノドームの機能の拡充等の検討の背景・必要性

(4) 新たなニーズ等への対応

周辺環境の変化があるなか、近年、高岡テクノドームにおいては、産業展示や商談会のみならず、親子もターゲットとしたアニメキャラクターや鉄道などのイベントのほか、5Gなど新たな技術を活用した若者向けのイベントなどが開催されている。

平成26～27年度には、北陸新幹線開業による新たなコンベンション等に対応した機能向上を図るため、音響設備や大規模スクリーン、Wi-Fiの整備等を行ったが、新たなニーズとして、1,000人規模の大規模会議に対応できる客席や常時活用可能な5Gの設備等を求める意見も出ている。

(イベント例)

ガンダムワールド
2018 in高岡

2018.
4.28～5.6開催



鉄道フェスタ2019
in高岡テクノドーム
2019.
8.3～8.11開催



Toyama Gamers
Day 2019
(トヤマゲーマーズデイ)
/5G Coliseum
(コロシウム)
2019.
9.28～9.29開催



・平成26～27年度には、北陸新幹線開業による新たなコンベンション等に対応した機能向上を図るため設備を充実

- ・音響設備 (可搬式6連式スピーカー)
- ・300インチの大規模スクリーン、プロジェクター
- ・Wi-Fi設備 等



新たなニーズの声

・大規模会議に対応できる客席の整備

1,000人規模でフラットなホールに椅子を並べると後ろが見えづらい。ひな壇のような客席があると良い

・5Gの設備 など

常時5Gの設備があれば高岡テクノドームの売りになる

4 機能の拡充等の方向性について (1) 展示に係る施設・機能の充実

(1) 展示に係る施設・機能の充実

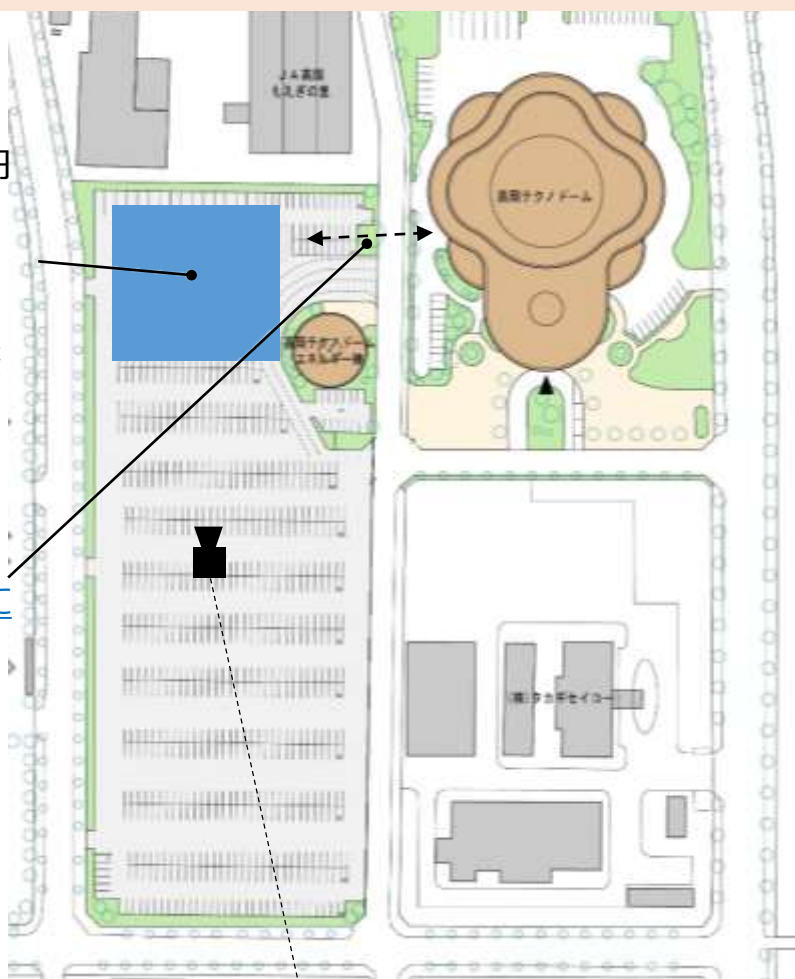
展示に係る施設・機能の充実のため、展示場（別館）を整備する。

新高岡駅や近隣のショッピングセンター、現在の高岡テクノドームの大展示場との円滑な動線を確保するとともに、現施設の特色である大規模駐車場の利便性への影響を最小限に留めるため、駐車場の北側に整備する。

なお、展示場（別館）の整備にあたっては、ハード、ソフトの両面から現在の高岡テクノドームとの一体的な利用に配慮する。

新高岡駅、イオン、高岡テクノドーム等の周辺の施設との円滑な動線を確保するとともに、駐車場内の影響を最小限に留めるため駐車場の北側に整備

現在の高岡テクノドームと整備する別館の一体的な利用に配慮



4 機能の拡充等の方向性について (1) 展示に係る施設・機能の充実

展示場（別館）は、建設場所等のスペースも考慮し、最大収容人員1,000人程度を目安とした規模（1,200㎡程度、控室、トイレ、入口ホール等も含め2,000㎡程度）の多機能型展示場を整備することとし、単独での多様な活用に加え、大展示場との連携による大型催事にも対応する。

また、5G回線を活用し、大展示場と展示場（別館）で大型催事を同時進行で行うなど、2館体制となるメリットを最大限に活用する。

展示場（別館） ※他県の1,000人規模ホール等の例（イメージ）



朱鷺メッセHPより引用

新潟県：
朱鷺メッセ
（メインホール）
収容1,000人※
※椅子のみ配置の場合
面積1,133㎡



仙台国際センターHPより引用

宮城県：
仙台国際センター
（大ホール）
収容1,000人
面積1,150㎡

連携

(例1)現在の大展示場で展示会、別館で商談会
(例2)現在の大展示場で会議、別館で分科会等
(例3)両館で大型イベント開催（5G同時中継）



高岡テクノドーム 大展示場

収容3,500人
（椅子席配置時）
面積3,050㎡



2018.11
ねんりんピック開始式
1,800席配置

<施設機能（施設規模）に関する検討会意見>

主な意見

- ・現ドームに加えて、**新たな機能を別棟で確保**することが必要
- ・幅広く多目的で利用できるようにし、そのためには**1,000人程度の規模**を収容できるような客席を配置することが必要
- ・**全国規模にも堪える収容キャパシティ**を意識した検討が必要ではないか。
- ・比較的**小規模な展示ができる別館**があると、**大きな展示場との相乗効果**が出るのではないか。
- ・別館ができれば、規模的にもちょうど良いものになる。これから成長していくような規模感のイベントだとテクノドームのような広さは持て余す。周りにはイベントを開催する会場が少ない。eスポーツのほか、**色々なイベントがチャレンジできるような場として、小さな別館は機能的。**
- ・**地元利用もありつつ**、大規模会議や学会など**全国から人が足を運ぶ施設**になれば良い。
- ・必ずしも1,000人とは言わず、**可能な限り確保**する方向で検討してほしい。

4 機能の拡充等の方向性について (1) 展示に係る施設・機能の充実

新たな展示場には、可動式の客席や移動式間仕切りを導入し、展示のほか、会議や各種イベント等に柔軟に対応できる1,000席程度の多機能型展示場とする。

【展示場のパターン例】

- ①基本パターン…フラットな床面となる展示場としての機能
- ②片側ステージ…セミナーや式典等に対応（平面椅子席600席、可動式客席400席、合計最大1,000席）
- ③中央ステージ…発表会等に対応（平面椅子席200席、可動式客席左右各400席、合計最大1,000席）

また、移動式間仕切りを備え、会議やイベント等の規模に応じ分割したレイアウトが可能なものとする。

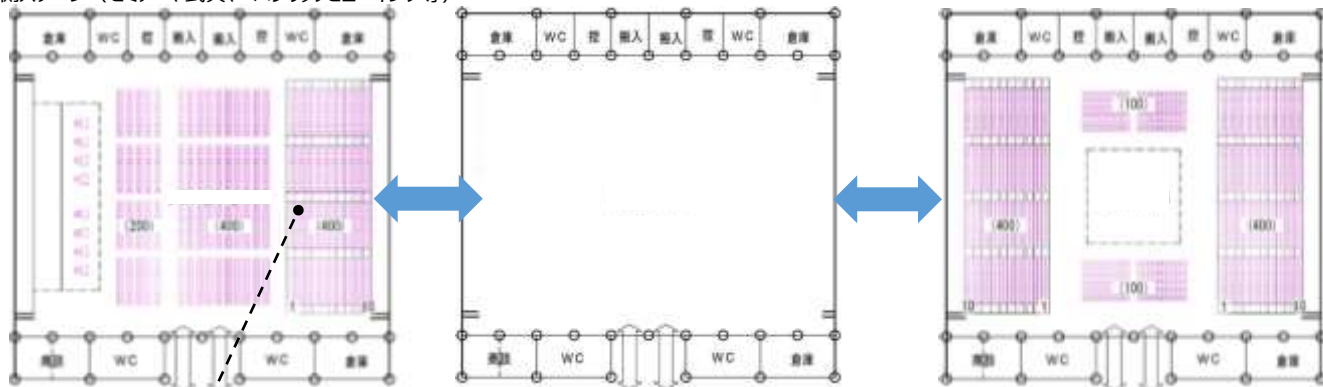
（例）全面フラットのほか、イベントに応じて配置転換可能な機能

【パターン例】

②片側ステージ（セミナー、式典、パブリックビューイング等）

①基本パターン（産業展示等）

③中央ステージ（発表会等）



可動式客席（400席程度）

可動式客席（400席程度×2）



参考：可動式客席
階段状の座席を壁面に収納可（電動）
（写真はサンシップとやま福祉ホール。可動部分198席）



参考：移動式間仕切りの利用例（テクノホール西館（新館）
天井面まで完全分割 → 全面・3/4面・1/2面・1/4面で利用可能



<施設機能（客席等）に関する検討会意見>

主な意見

- ・平面的な活用に加えて、立体的な活用を視野に入れ、**移動式ステージや観覧席の設置**を検討してほしい。
- ・多目的な利用を確保するためには、**客席は可動式**が望ましい。
- ・5Gなど新しい技術を活用したエンターテインメントが出てくると、活用の仕方がこれから色々変わっていくため、対応できるよう**可動式客席など汎用性の高いもの**が良い。

4 機能の拡充等の方向性について (1) 展示に係る施設・機能の充実

eスポーツの大規模大会の開催、パブリックビューイング、バーチャル技術と連携した産業展示など、5Gの大容量通信等の特性を活かす大画面・高精細映像装置等多様なイベント等に対応可能な映像・音響装置を導入する。

また、冷暖房設備や空調、照明、床機能等も省エネかつ利便性の高いものを導入する。

(例) 5Gの大容量通信等の特性を活かす高精細映像装置など

(300～400インチの複数スクリーンを備え、多視点映像や音声などの大容量情報にも対応)

eスポーツ大会の開催

2019.9/28-29
5G Coliseum
(高岡テクノドーム)

300インチ×2スクリーン



5Gネットワークを通じたライブビューイング (イメージ)

※写真は(株)NTTドコモ報道発表資料2019.7.26「ラグビーワールドカップ2019TM 日本大会」で5Gプレサービスを提供」から引用



産業向けバーチャルショールーム
商品がその場になくても、体験シミュレーションをリアルタイム発信

(例) 高効率ヒートポンプ空調や床暖房、LED照明などの導入

テクノホール (西館)

LED照明



床下に電気ピット、電気配線用共同溝、給排水ピット

床暖房



真空式温水器 (床暖房用)



ガスヒートポンプエアコン

<施設機能 (5G等) に関する検討会意見>

主な意見

- ・5G時代を見据え、eスポーツなどのイベントを開催すれば新幹線を利用して多くの来場者が期待できる。5Gに対応した設備の設置を検討してほしい。
- ・ICTなどの最先端技術が活用できるような5G装置等が必要。
- ・別館整備を5Gの特性を活かしたものにすることは素晴らしく、歓迎したい。
- ・5Gもキラーコンテンツの一つとなるので、ぜひ備えてほしい。
- ・最先端の設備があっても、活用する側が重要となってくる。場所を作るのと同時に、5Gに特化した新しい施設をうまく活用できる企業や人材、ひいては産業を育成していく必要がある。
- ・床面、音響やビジョンの工夫が必要。
- ・暖房や配線など床の機能を高めると、ホールでも会議などができ、平日の活用がもっと増えるのではないかな。
- ・省エネ型ホールとして、光熱費をどう抑えるか配慮した先進的な機能があると良い。

4 機能の拡充等の方向性について (1) 展示に係る施設・機能の充実

別館の整備に伴い拡充した機能を活かし、住宅設備、家具・電化製品、自動車関係の催事のほか、産業や観光などの振興につながる全国的なコンベンション、eスポーツの全国大会、エンターテインメント性が高いイベントなど、幅広い世代が参加できるものの誘致に取り組む。

<施設機能（イベントその他）に関する検討会意見>

主な意見

- ・全国規模のコンベンションが開催できれば、首都圏や関西圏から利用者呼び込めるのではないかと。
- ・首都圏や関西圏から、規模の大きな会議の受入れが必要。
- ・コンベンションや産業展示などの全体会議、あるいはシンポジウム、体験やイベントなど幅広く多目的で利用できるようにすることが必要
- ・新幹線の新高岡駅に近接していることを踏まえ、文化・スポーツ活動にも活用できるような、広い意味でのコンベンション機能を付加することが必要
- ・イオンには若者がたくさん来るので、eスポーツなど若い人向けのイベントがたくさんあり、そこから利用者の層を広げることができるのであれば、5Gの設備を整備し特化するのも良い。
- ・鉄道のイベントやeスポーツの大会を誘致できるようなものにしてはどうか。
- ・eスポーツにも使えるコンベンションホールとして、非常に有効な建物になる。
- ・5Gを活かす大型ビジョンの設置は、eスポーツのほか、臨場感あるスポーツ観戦、会社のPR、プレゼンテーションを行う場としても使える。
- ・今のテクノドームは、ファミリーが来やすいイベントがない。エンターテインメント系のイベントが少ない中で、映像などに特化した施設を作ると、デジタルアートのようなイベントが開催でき、幅広い世代が集える場所になる。
- ・若いファミリー層やシニア層には、食のイベントが呼び込みやすいのではないかと。
- ・芸術文化のイベントやシンポジウムができるようなものがあると良い。

4 機能の拡充等の方向性について (2) 集客・交流に係る施設・機能の充実

(2) 集客・交流に係る施設・機能の充実

集客・交流に係る施設・機能の充実として、展示場（別館）に、ものづくり産業の発信・体験施設を併設するものとする。

①ワークスペース (200㎡程度)

親子などが気軽にものづくり体験（伝統工芸、最新技術を活用したもの等）ができるワークスペース



(イメージ：福井ものづくりキャンパスHPより)

②ものづくりギャラリー (100㎡程度)

伝統工芸から最新技術による製品まで、県西部の産業技術を発信・体験するギャラリー



ものづくりギャラリー(イメージ)

③IoT・AI等の未来技術体験展示 (100㎡程度)

VR、AR、IoT・AI等の未来技術を体験できるアミューズメント・体験スペース

IoT・AI等未来技術体験展示(イメージ)



④コミュニケーションスペース (200㎡程度)

5G通信が可能で、スクリーン等の設備を備えプレゼンテーションやミーティングが可能なコミュニケーションスペース

(催事に応じて会議室として活用可能)

コミュニケーションスペース(イメージ)



このほか、休憩スペース、カフェや物販等についても検討する。

なお、①ワークスペース、②ものづくりギャラリーについては、既存施設との相乗効果が生まれるよう調整を図る。

諸室名	面積	施設機能等
①ワークスペース	200㎡程度	
②ものづくりギャラリー	100㎡程度	
③IoT-AI等の未来技術体験展示	100㎡程度	
④コミュニケーションスペース	200㎡程度	大1 (150㎡) 小1 (50㎡)
⑤カフェ、物販、休憩スペース、管理部門	600㎡程度	カフェ、物販、休憩スペース、事務室、エントランス、トイレ、機械室、階段、廊下等
合計	1,200㎡程度	600㎡程度×2階建を想定

4 機能の拡充等の方向性について (2) 集客・交流に係る施設・機能の充実

ものづくりギャラリー (イメージ)



<集客・交流施設の機能に関する検討会意見>

主な意見

- ・子どもたちの教育に使えるような場所、展示できるような場所は非常に良い。
- ・体験型は重要なポイントであり、お子さんが行きたいなと思えば親も来る。地域の誇りになるようなことを教えられる場になれば良いのではないかと。
- ・子どもたちの学び、産業や技術の学び、体験・教えてもらう場という活用は賛成。車でも来やすいので、特に夏休みや冬休みなどにイベントがたくさんあれば利用したい。
- ・IoTを利用した農業など、子どもたちとものづくりを学べる場所となれば良い。
- ・「チームラボ」のようなデジタルアートを駆使し、産業や自然を表現できたら良い。子どもが楽しめる空間があれば良い。
- ・ものづくり体験ができる機能は、親子のコミュニケーションをとる上でも良い。
- ・ものづくりを体験したいという人は多く、体験施設を常設にしてはどうか。
- ・子どもたちの学びや体験というところを大切に扱っており、ありがたい。
- ・ここでしかできない、本物の技術を体験・学べる場となればよい。そういうところで子どもが体験できるのは親としてもうれしく、付いていく親も新鮮な感動と興味を持って子どもたちと学ぶことができる。
- ・体験施設を誰が運営するかが大切。設備を使いこなし、アドバイスもできる人材を確保する必要がある。小さな企業や職人だと厳しいので、デザインセンターに任せるとか、富山大学生と連携することも考えられるのではないかと。
- ・ものづくりの展示を見たり、体験をして、いいなと思ったものはすぐには買えるように販売面も工夫すべき。
- ・せめて50席のカフェがあるとお客も集まりやすい。
- ・ゆとりがある場所として、飲み物が飲める休憩スペースの確保が必要ではないかと。

4 機能の拡充等の方向性について (3) その他

(3) その他

①地場産工芸品等の活用

今回のテクノドーム別館の整備にあたっては、富山テクノホール西館整備の際のように、城端絹織物を挟んだ特殊ガラスや、越中和紙を装飾した壁、県産材を利用したテーブルセットなど、**地場産工芸品等を壁面や建具等に可能な限り活用するものとする。**

テクノホール西館の例



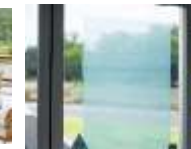
高岡鋳物、庄川挽物木地を利用した扉の取っ手



越中和紙を装飾した壁



県産木材を利用した
テーブルセット



城端絹織物を挟んだ
特殊ガラス

高岡テクノドームの例



高岡鋳物を利用
した扉の取っ手

②現施設の機能強化の検討

本館は設置から29年が経過しているため、必要な点検・修繕は行いつつ、魅力向上、別館との相乗効果発揮に向けた機能の充実や大規模修繕を検討する。

別館の整備状況を見ながら、利用者や施設所有者である運営財団の意見等も踏まえ、可能なものから実施できるよう進める。

駐車場については、小さな子ども連れや高齢者、障がいのある方も駐車しやすいスペースを設けるなど配慮しながら、駐車台数確保、安全対策に努める。

- (例) ・省エネルギー化 (LED照明の導入、断熱・遮熱性能に優れた窓ガラスの導入など)
・女性トイレの増設、ユニバーサルトイレ、授乳室等の整備
・冷暖房設備の改修
・音響設備、会議室などの充実
・駐車場の区画整理・ライン引き直しによる駐車台数確保
・安全対策のための誘導標示や車止めの設置 等

③その他

屋外に憩いの場となる空間の設置についても検討する。

高岡スポーツコアなどの近隣の施設と連携し、式典やレセプション会場としての活用も見据えた施設となるよう必要な機能について検討する。

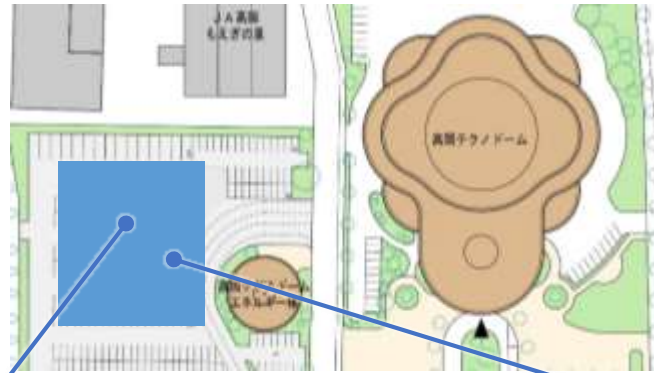
4 機能の拡充等の方向性について (3) その他

<その他の検討会意見>

主な意見

- ・**地元の素材**を使ってほしい。パーテーションなどに使えば、子どもたちが目にしたり、触れたりすることもできる。
- ・人口が減少する中で、新しいものをというより、今の施設をうまく活用したほうが良い。
- ・現在のテクノドームの空調や照明などを改善・充実し、プラスアルファで別館を整備し、相乗効果を出していくことが良いのではないか。
- ・**空調が思うように効かない、音響が悪く、反響して聞こえにくい。**
- ・空調などの機能に問題があるのならば**改善が必要**。
- ・**会議室が狭く、活用しづらい。**
- ・広いホールで会議をやろうとすると、**床が冷たく、また色々な配線が出てきて使いづらい。**
- ・**広い駐車場**はありがたい。
- ・幅広い年代層の方が集まれるイベントが可能となる設備・施設を考えてほしい
- ・5Gの技術や可動式の客席など、ワクワクするイベントの開催がイメージできる施設の充実となっている
- ・親子向けに、託児スペースや、県産の木材や製品を活用した子どもが遊べるコーナーを置いてはどうか。
- ・駐車スペースを多くとることも大事だが、親子向けに余裕があるスペースの確保も必要。
- ・**芝生の公園**があると、子どもや家族が休憩でき、またマルシェの開催など色々な活用ができ、市民も集まる場所になるのではないか。
- ・この地域にたくさんの方が集まれば、新幹線かがやきの停車も実現する。**テクノドームを核とした地域の賑わい創出が必要**。
- ・広域的な**圏域全体、飛越能を含む圏域の利用**を図ることが重要。
- ・敦賀開業、大阪延伸を念頭に、首都圏・関西圏など**全国的な利用を視野**に入れる必要
- ・機能を外の人に知ってもらう**広報の工夫**が必要（ユーチューバーの活用など）。
- ・旧来のまちと新高岡駅が二極化しており、まちなかの性格と新幹線の周りとを**性格分けし、役割分担**を考えていく必要がある。
- ・全てではなくとも、他よりも優位に立つため、**選択と集中でどこかでナンバーワン**にならないといけない。例えば、5Gならば、その点においては日本のどこよりも優れているということにしないと注目されない。
- ・多機能であれば運用が大事であり、人が集まってもらえるような**営業活動**も必要。
- ・広域的な利用が前提であり、県西部地域の企業が有益な展示活動を展開し、連携できるような組み立てをお願いしたい。
- ・こうした先端技術は陳腐化が早いことから、これに対応できる地元産業を育成するとともに、新たな機能を活用して、そのような産業のPRにつながる情報発信に努めてはどうか。

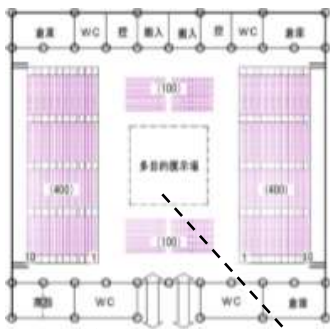
5 整備概要（イメージ）



【展示場】（2,000㎡程度）

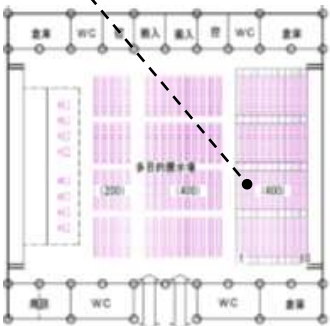
- ・各種展示会をはじめ、音楽イベント、パブリックビューイング等のイベントが可能な多目的ホール
- ・本館大展示場と同時に大型行事を進行可能とする大モニターや5G回線等を配備

（パターン例1）



可動式観覧席を配備
全面フラットな展示施設のほか、イベントに応じて配置転換可能

（パターン例2）



【集客・交流施設】（1,200㎡程度）

ワークスペース（200㎡程度）



ものづくりギャラリー（100㎡程度）



IoT・AI等未来技術体験展示（100㎡程度）



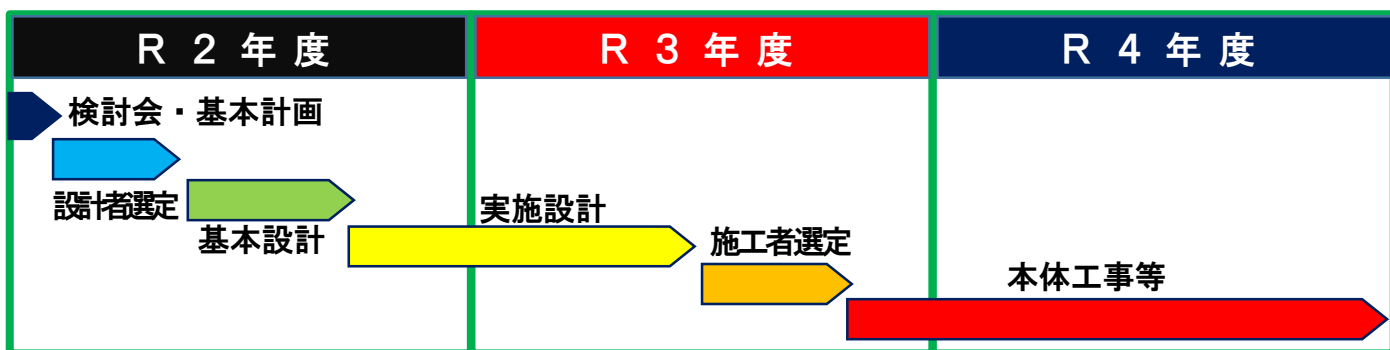
コミュニケーションスペース（200㎡程度）



6 整備スケジュール等

2022年度（令和4年度）末の北陸新幹線敦賀開業に向けて整備を進める。

北陸新幹線の敦賀開業効果を最大限に引き出し、波及させていくためにも速やかに整備を進めることとし、県民に親しまれ、県西部地域の経済波及効果など活性化に資する拠点となるよう、今回の検討会での取りまとめや、関係者の意見等も踏まえ設計等に着手する。



7 付属資料

(1) 検討会設置要綱

高岡テクノドームの機能の拡充等に関する検討会設置要綱

(設置)

第1条 富山県産業創造センター（以下「高岡テクノドーム」という。）の周辺環境の魅力が増す中で、北陸新幹線の敦賀開業を見据え、各種催事などの新たなニーズにも対応し、県西部地域の活性化に資する拠点となるよう、展示、集客及び交流に係る施設・機能の拡充の方向性について検討を行うことを目的として、高岡テクノドームの機能の拡充等に関する検討会（以下「検討会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 検討会は、次に掲げる事項について検討し、とりまとめを行う。

- (1) 展示に係る施設・機能の拡充に関すること
- (2) 地域活性化に資する集客、交流に係る施設・機能の拡充に関すること
- (3) その他前条に定める目的のため必要な事項

(組織)

第3条 検討会は、別表に掲げる、経済団体や関係団体の関係者、学識経験者等からなる委員で構成する。

(役員及び役員の職務)

第4条 検討会に座長及び副座長を置く。座長は委員の互選により選任し、副座長は座長が指名する。

- 2 座長は、会務を総括する。
- 3 副座長は座長を補佐し、座長に事故があるときはその職務を代理する。
- 4 座長は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴き、また必要な資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第5条 検討会の庶務は、商工労働部商工企画課において処理する。

(その他)

第6条 この要綱に定めるもののほか、検討会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、令和2年1月15日から施行する。

7 付属資料

(2) 検討会委員名簿

(五十音順、敬称略)

	職 名	委 員 名	備 考
1	一般社団法人富山県アルミ産業協会会長	荒 井 毅	～令和2年5月 山下 清胤
2	富山県PTA連合会副会長	大 西 ゆかり	
3	高岡商工会議所女性会会長	大 野 朝 子	
4	南砺市商工会会長	川 合 声 一	
5	砺波商工会議所会頭	北 村 憲 三	
6	富山県eスポーツ連合会長	堺 谷 陽 平	
7	高岡商工会議所会頭	塩 谷 雄 一	副座長
8	高岡南部地域活性化推進協議会会長	高 木 章 裕	
9	高岡市長	高 橋 正 樹	
10	富山国際大学現代社会学部教授	長 尾 治 明	座 長
11	富山県デザイン協会会長	能 作 克 治	
12	株式会社松井機業	松 井 紀 子	

7 付属資料

(3) 検討会の開催状況

第1回 令和2年1月24日（金）

- ・高岡テクノドームの機能の拡充等について

第2回 令和2年3月4日（水）

- ・展示に係る施設・機能の充実について
- ・集客・交流に係る施設・機能の充実について

第3回 令和2年6月5日（金）

- ・高岡テクノドームの機能拡充等の方向性について

